湊地区 社会福祉協議会







日本海の夕陽 (小舞子海岸)



霊峰白山 「日本三名山」 (手取川左岸域)

- ○よいこと 自然豊かな地区で人と人とのつながりが続いている
- ○心配なこと 治水と、生活の基となる買い物場所がないこと

数字で見る湊町

データ		2014年	2024年	増減	10年前との 比較	男性		女性	
		(H26)	(R 6)			H26	R 6	H26	R 6
湊町総人口 (人)		2,915	2,744	▲171	94.1% >	1,399	1,307	1,516	1,437
	平均年齢 (歳)	46	48.8	2.8	7	43.8	47	48	50.4
	高齢化率 (%)	28.1	31.6	3.5	7	24.4	27.1	31.5	35.6
	一人暮らし高齢者数	79	129	50	163.3% >				
	小学校学童数 (人)	161	127	▲ 34	79.8% >				
世帯数		1,088	1,184	96	108.8% >				
1世帯あたりの人数(人)		2.7	2.3	▲0.4	7				
町内会数		12	11	A 1	7				

湊地区コミュニティ 組織図

総会

役員会

(会長1、副会長2、会計1、理事11)

事務局3

防災·防犯部会

自主防災会

消防湊分団

コミュニティ委員ほか

安心安全で暮らせるまち

健康·福祉部会

湊地区社会福祉協議会

健康づくり推進員

コミュニティ委員ほか

健康で元気に 暮らせるまち

スポーツ・文化部会

体協

老人会

コミュニティ委員ほか

豊かな心で

暮らせるまち

環境・ジオ部会

桜と黒松を守る会

育友会・老人会

コミュニティ委員ほか

自然豊かで

美しいまち

地区社協年間行事





2 月

社協だより発行

月

湊町左義長

湊町民体育大会

との交流



湊ふれあい夏祭り

社協だより発行

社協だより発行



敬老会

5月



広報紙(年3回)

4月、9月、3月発行 地域住民、賛助団体へ報告し理解を



◇みなと町ウオークラリー協力(3.4年生) 6月13日(木) 9時~12時



☆みんなで支え合い、安心して暮らしていける湊町を目指して

~ 福祉は(ふ) だんの (く) らしの (し) あわせ ~







令和6年9月



能登半島地震から8ヶ月が過ぎましたが、その間にも震度5以上の地震が 東北、関東、四国、九州地方で発生し、改めて地震大国を思い知らされま す。更に各地では台風の影響等により腺状降水帯が発生し記録的な大雨 による土砂災害や河川の氾濫等も起きています。私たちは美しい豊かな自 然から多くの思恵を受けている一方で、自然がもたらす災害からは残念なが ら逃 れることができません

歳では地区コミュニティ(防災・防犯部会)を中心に自然災害から「命」を守るために、様々な取り 組みを行っていますが、先ずは町屋 1 人ひとりが[白らの命を守る]ために[防災・減災]を変難す ることが大切です。災害発生時の避難場所や連絡方法、避難経路の確認、避難用具品、備毒品 の準備は大丈夫でしょうか?自助努力に加え地区社協がスローガンに掲げている「みんなで支え 合い、安心して暮らせる波町を目指して」避難支援が必要な方や隣近所への声がけ、サポート等 共助の取り組みを更に充実していけたらと思います



みなど防災 フェスタ 2024 体験イベオ 8/25 (FI



事業実施報

4月~9月

◇ 第1回 福祉協力昌·民生委員研修会 第2回 地区社協理事会合同開催 5月16日(木)19時半 淡コミュニティセンター 《参加者22名》

☆自己紹介 ☆年間研修計画について提案 [第2回]防災講話 体験訓練 8/24(土)25(日) [第3回] 淡社協講演会 9/7(土) 【第4回】地区別福祉協力員・民生委員研修会 11 月 [第5回]福祉協力員·民生委員研修会 2 月

* 袋詰め・招待者誘導・介助・バス送迎等 ☆情報交流 *見守りが必要な高齢者への対応等

心游 老会坐 務分担

◇湊町敬老会 5月26日(日) 9時~12時10分 (二部制) 湊工ミュニティセンター (協力者28名:社協理事·民生委員·福祉協力員等)



例年行っている「羨社協議演会」を兼ねて参加しました。

どんな液のまちにしたいか多数の意見で盛り上がりました

《参加者 28名:社協理事・民生委員・福祉協力員・流寿会・保護者・消防団》 10カ所のポイントで問題を解きながら、子ども速は速の自然、歴史、 公井施設等を巡り楽しく学んでいました。また7月10日には子ども達の 「ウオークラリー発表会」に招かれ、温かい交流の時間を過ごしました。















◇湊ふれあい夏祭リ 7月20日(土) 《参加者 10名》



コイン落とし」のコースを担 当しました。子ども達は昨 年度の"リベンジ!"と、意 気込んで水中のカップに 狙いを定めてコインを落と 1.711ましたが…水中でコ インの動きは変化してしま 11大学等。相当者4一生 懸命応援し、楽しいふれ 《大学生もスタッフに仲間入り》 あい夏祭りでした。

◇湊まちづくリワークショップ 9月7日(土) 10時~ **表コミュニティセンター**

湊コミュニティセンター《参加者16名》 * ふれあい真祭りの協力、今後の行事予定 等について話し合いました。

みなど防災フェスタ

~◇第2回 福祉協力員·民生委員研修会と 養ねてフェスタに参加しました~

3月24日(十)25(日) 漆コミュニティセンター 《参加者24日:20名》

24 日は能登半島地震被害状況や活動につ いて各区長、消防団連分団から報告があり した。引き抜き「液地区の災害リスクを考える」 をテーマに金沢大学の平松良浩教授の講演 がありました。翌日は、液状化現象や淡地区 のハザードマップ、避難備品や防災金につい て学びあいました。 淡地区コミュニティ 防災防 犯部会等の皆様、暑い中お疲れ様でした。



会和 2年 3月

☆みんなで支え合い、安心して暮らしていける湊町を目指して! ~ 振祉は (あ)だんの (うしの し(あ)わせ ~

今年度、漁地区社協は「見守り活動のシステム構築」 に向け白山市社会福祉協議会美川支所と連携し、護 演会や研修会、合同会議等の内容充実に取り組んで きました。昨年度11名からスタートした「福祉協力員」 は、3月現在17名に増えました。区長・民生委員・福 祉協力員・サロン世話人・各種団体等が連携し、担当 地区の高齢者や、気になる方への見守り・声かけ、地 域の課題解決等に努められていることは大変心強い ことです。淡地区は、ひとり森らし・高齢者世帯が約3 0%を占めています、誰もが安心して恭らしていける 湊町を目指し、さらに住民同士が支え合い、つながり を深めていけるように、途地区社協も歩んでいきたい と思っています。皆様の湊地区社協へのご協力を感 謝すると共に、来年度もご理解、ご協力、宜しくお願い



賛助会費へのご協力 右難うございました

今回、ご都合により参加できなか

った方は、次回、是非ご参加下さ

高級鋳鋼(株) 様 しおのやクリニック 様 昭和精工(株) 様 (株)清 建 村 D I C (株) 样 中村保険事務所 样 白山 設備 様 (株)マイテック 様 (性)フタキ鉄工様 市社会福祉協議会 協力金として、各区

よりも協力金を納入 して頂いています。 ご支援有難うございました。

事業実施報告 9月~3月

◇ふれあいバスツアー

9月25日(水)

~参加者 27名 (70歳以上一人暮らしの方21・世話係6)~ 秋晴れの下、童心にかえって? 楽しく、充実した1日でした

今年度、淡地区社協は、新型コロナ感染拡大予防

対策として、「命を守る」をキーワードにほとんどの事

業を中止しましたが、その一方で、長引く自粛生活の

そこで地区社協は各サロンへ給付金を配布し、サ

ロンが開催できなくても高齢者を元気づける取り組み

をお願いしました。また、福祉協力員部会を通じて福

祉協力員と民生委員の連携を深め、地域の高齢者等

「コロナウィルス」は、人と人との関わり合いを分断

し、孤立化させ、人間関係を狙害する恐ろしいウィル

スですが、コロナ禍の中で住民同士の支え合いの大

切さや、地区社協組織の存在意味を再確認すること

これからも、住民同士が支え合い、つながりを深

め、安心して非らしていける湊町を目指し、湊地区社

中での「心のケア」が課題として見えてきました。

への声かけや見守り活動に努めました。

傷も歩んていきたいと思っています。

今年度流地区社協へのご協力を

感謝すると共に、来年底もご理解、

ご協力の程、宜しくお願い致します。

ができました。

☆みんなで支え合い、安心して暮らしていける湊町を目指して!

~ 福祉は(ふ)だんの くうしの しるわせ ~



第 20 号 令和3年3月

有難うございました

しおのやクリニック 様 昭和椿工(株) 様

DIC(株) 様 中村 EPコンサル様

白山設備 様 (株)フタキ鉄工 様

湊地区全在住者です

9月~3月

10月15日(金)9:00~12:00 参加者12名

校から地区 社協に授業として行う[みなと町ウオーク

ラリー しゃの協力依頼がありました。急なことでした

が、今迄の「湊町たんけん隊」の取り組みを参考に、

ポイント値所ごとに問題を出し子供たちと楽しくふれ

合いました。天気にも恵まれ、子供たちのマスクはし

ていても元気な姿に、参加者も元気をもらいました。

(株)マイテック 様

市社会海社協議会協力会

として、各地区よりも協力金

を納入して頂いています。

_____ ご 支援有難うございました。

湊地区社協の会員は

(株) 清 建 様 高級鋳綱(株) 材

溃地区社 金です。 んで地区 皆さん。

3. 日 程

◇森商店閉店後の課題・対応会議

(区長・民生委員・福祉協力員・地区社協・市社協)

10月で去商店が麻業されるとの情報を受け、急遽開い

会議に多くの方が参加されました。各地区の買い物状況

や支援が必要と思われる高齢者等への対応について活

発な話し合いがされました。近隣に住む子供たち・ご近所

さんのサポートや、市の巡回 バス利用等により何とか切り

抜けている方がおいでる中で、今後に向けて「他地域での

取り組み」等を参考に、淡地区として考えられる対策につ

11月9日(土)外国人参加者4名

いて引き統き検討していくことになりました。

「毎理のない範囲での交流」をも

-ワードに、事業主のご理解の下、

淡在住の外国の方を「餅つき」に

招待しました。初めての体勢との

ことでしたが、鮮のつまたを決の

ました。なお「かめの会」でも、交流しました。

、◇外国人との交流 《餅つき》 清文化祭

名人速に教わりながらふれあい、楽しそうに難つきをして

湊地区社会福祉協議会総会のお知らせ

午前10時~午前11時40分

1. 日 時 令和2年4月4日(土)

2. 場 所 湊リフレッシュセンター

*ほっとコーナー 10時~10時30分

9月26日(木) 参加者29名

第 25 号 令和4年9月 **递地区社会福祉協議会**

★みんなで支え合い、安心して暮らしていける湊町を目指して!

~ 福祉は(ふ) だんの (く) らしの (し) あわせ ~

心強い 民生委員・福祉協力員 さん

◇福祉協力員・民生委員地区別研修会

暮らしやすい地域、住んでよかったと思える地域は

自分の知っている人たち、気にかけてくれる人たちか

近くにたくさんいる場所です。 (話し合いブリンナから)

◇福祉協力員·民生委員研修会

り方について情報を共有しました。

今年度の活動を振り返り、今後の活動に向けて話し

合い、担当地区民生委員と住宅地図をもとに、見守

✓ ふれあいサロン合同会議

サロンのお世話をされている方が集まり、今年度

の活動の紹介と、課題等について情報を交換し

8.9区 12月13日(木) 参加者7名

高齢者見守り活動

の考え方やふれあ

いサロン「かめの

会」が果たしている

役割等について話し

会いました。

2月13日(木) 参加者23名

コロナ感染の収束の見通しがつかない中、8月には、豪雨により湊でも道路が冠水したり、西川 の水が溢れ出した外、て、漆公民館や漆小学校へ避難された方もおいでおした。また、大雨の中、 隣近所を見回り降難の声かけをしため、避難先に自宅を提供された方もおられ、支え合い助け合う 光景にふれることもできました。私たちの生活を支え、心を癒してくれる自然ですが、改めて自然の 筋は痛が感じます。

今回のことからも、一人ひとりが防災意識を高め、普段から住民同士がつながり、助け合い、見 守り活動の発化に努めていきたいを思いました。



※災害発生時の避難場所や連絡方法、避難経路の確認をし ておきましょう。

※近辺の危険個所をハザードマップ等で確認しておきましょう。 ※防災訓練に参加し、避難行動や手順、迅速な避難が難しい 方などの状況を把握しておきましょう。



白分でやる

公 助 行政で支援

事業実施 報告 5月~8月

◇第2回 地区 社協理事会 5月18日(水)19時半海公民館 の実施計画について協議しました。 コロナ禍でも感染予防対策を講じ

令和4年度の新メンバーで、今年度 ☆ お 話 「福祉協力員とは」

*福祉協力員として、民生委員と連携し「隣近所へ の声かけで、関係機関へつなぐ等、無理せずで きることをする。

淡地区主任児童委員 塩谷 郁子 氏 *認知症の方の問題行動には必ず原因があり、複り 方を工夫すれば症状をやわらげたりすることがで

~福祉協力員の方へ名札プレートを配布へ



◇第1回 福祉協力員・民生委員会同研修会 5月9日(木)参加者23名19時半 途公民館 白山市社会福祉協議会美川支所 中野 敏則 氏

☆お 話 「高齢者との関わめについて」

みなと町ウオークラリー(協力)

参加者:

社協理事 · 民生委員 · 福祉協力員・湊寿会・

保護者•消防団











10カ所のポイントで問題を解きながら、子 ども達は湊の自然、歴史、公共施設等を巡り 楽しく学んでいました。

避難場所クイズや三角巾での応急処置の 学習、ブロック塀の倒壊を想定した設定も!

湊町文化祭 (ふれあいデー 外国人との交流)







湊地区で働いていらっしゃる外国の方4名を文化祭に招待し社協 メンバー4名と交流しました。

展示作品を一緒に鑑賞しながら、お互いの国に生息する動植物や日常の生活等について紹介し合いました。

防災会との連携





防災フェスタ 災害時の食事



列車乗客 避難所へ誘導 JR西、白山・湊の住民に感謝状

2024年3月2日 05時05分 (3月2日 10時32分更新)



能登半島地震で停車したJR北陸線の列車から 料を提供したとして、JR西日本は2月29日、 を贈った。

停車した列車は、大阪行きの特急サンダーバー 元住民でつくる「湊地区コミュニティ」や「湊自60人を避難所として開設された湊小学校や湊21月2日朝に列車が運行を開始するまでの間、選ックライス、即席のスープなどを提供したり、第

感謝状を受け取った明正晋一さん(前列中央)ら=白山 市の湊公民館で(同公民館提供) 湊公民館であった贈呈式には、湊地区コミュニら5人が出席。JR西から感謝状を受け取った。

冷静でいてくれたおかげでスムーズに避難してもらうことができた。協力してくれた住民たっ

1月1日の経験

課題 と まとめ

